

問合せ

防災対策課（担当者：濱田 孝光、野口 友裕）

（内線）3-2070（直通）0565-34-6750

## Press Release

# 新たな防災拠点となる豊田市博物館等における 豊田市災害対策本部移転訓練の実施について

豊田市は、近年頻発している大規模水害などに備え、豪雨災害時における豊田市博物館等への災害対策本部移転訓練を初めて実施します。

訓練では、令和5年6月に発生した規模の線状降水帯が本市に直撃したことを想定し、浸水の可能性がある市役所本庁舎から、豊田市博物館等へ災害対策本部を移転します。本訓練を通して新たな課題を洗い出し、大規模水害への備えにつなげていきます。

### ● とき

令和6年5月20日（月） 午後1時15分～4時

※中止の場合の判断基準については別紙参照

### ● 訓練会場

豊田市役所 南庁舎4階 災害対策本部室、豊田市博物館（小坂本町5-80）、  
豊田市民文化会館（小坂町12-100）、豊田市美術館（小坂本町8-5-1）など

### ● 参加者

豊田市長、市職員、関係機関（自衛隊、警察、電力会社）の職員など 計500人程度

### ● 訓練内容

- ・午後1時20分～2時（南庁舎4階 災害対策本部室）

市役所南庁舎4階の災害対策本部室にて第1回本部員会議を実施し、市内の被害状況を各部長が共有したうえで、豊田市博物館等への災害対策本部の移転に関する判断を行う。

- ・午後2時～3時10分（豊田市博物館セミナールーム及び各対策部の移転先）

災害対策本部事務局を豊田市博物館へ移転するほか、部局ごとで構成する対策部についてもそれぞれ庁舎浸水時の代替施設として計画している施設（市民文化会館や美術館等）へ移転する。

- ・午後3時10分～3時40分（豊田市博物館セミナールーム）

豊田市博物館にて第2回本部員会議を実施し、移転の状況や気象情報を各部長が共有したうえで、今後の災害対応に関する方針を確認する。

- ・上記内容に合わせて、適宜電力会社（中部電力株式会社）などの関係機関が災害時に行うリエゾン派遣を実施し、連絡体制の確認を行う。

### ● その他

各対策部の移転先（訓練会場）や参加者の一覧については別紙参照

以上（添付資料： **有** 写真データ： **無**）

## 1 各対策部移転先一覧

部局名	移転先（事務作業）	移転先（窓口）
環境部	環境学習施設エコット	－
企画政策部	市民文化会館 2F（交流館課、会議室ロビー）	－
教育部	青少年相談センター	－
建設部	市民文化会館 1F（大ホール）	－
産業部	市民文化会館 1F（小ホール）	－
こども・若者部	市民文化会館（展示室 A 等）	－
市民部	高橋支所	市民文化会館 1F ホワイエ
消防本部	美術館はじめ 9 施設	－
上下水道局	豊田配水場 市民文化会館 1F（つながりリビング）	－
生涯活躍部	美術館	－
美術・博物部	美術館	
総務部	市民文化会館 2F（交流館課、会議室ロビー）	－
地域振興部	本部事務局内（博物館）	－
都市整備部	市民文化会館 1F（小ホール） 西山公園、鞍ヶ池公園	市民文化会館 1F ホワイエ
福祉部	こども発達センター	市民文化会館 1F ホワイエ
保健部	市民文化会館 2F（小会議室） こども発達センター	－
本部事務局	博物館 1F（セミナールーム）	－

## 2 参加予定者

- ・本部員会議構成員 23 名(本部長 1 名、副本部長 3 名、各対策部本部員 19 名)
- ・災害対策本部事務局内対策班（10 対策班） 約 40 名
- ・全対策部一部の職員（16 対策部） 約 390 名
- ・関係機関（自衛隊、警察、電力会社（中部電力（株）） 約 60 名 **合計 約 500 名**

## 3 中止判断

- (1) **開催日前日**に、以下のいずれかの判断基準に該当した場合。（5月19日（日）午後5時頃に判断します。）
- (2) **開催日当日**以下のいずれかの判断基準に該当した場合。（5月20日（月）午前9時頃に判断します。）

※なお、開催時間までに判断基準に該当した場合は中止とします。

### 【判断基準】

- 豊田市内の一部または全域に相当規模の災害が発生した場合または発生する恐れがある場合。
- 豊田市（発表単位は豊田市西部または豊田市東部）に大雨警報、洪水警報、暴風警報、土砂災害警戒情報が発令された場合または発令される予想の場合。
- 豊田市（発表単位は愛知県西部）で震度4以上の地震が発生した場合。
- 南海トラフ地震臨時情報が発表された場合。